

news
atom
ニュースアトム

TEPCO

柏崎刈羽原子力発電所

MAY
2022 **5**



- 64名の新入社員が発電所に仲間入りしました ほか[発電所ニュース]
- 皆さまの声から改善しました
- 原子力改革を推進するために[発電所の一員として]
- 地域の皆さまと共に～所員による地域共生活動～ ● 映画鑑賞会のご案内
- サービスホール5月の催し

[米山福浦八景 牛ヶ首]
柏崎市笠島

64名の新入社員が発電所に仲間入りしました

東京電力グループは、2022年度の新入社員520名を迎え、4月1日に入社式を行いました。

入社式は、感染症対策としてリモートで各事業所を繋いで行われ、柏崎刈羽原子力発電所に着任した64名も参加しました。

当日、所長の稲垣からは新入社員に向けて「発電所の信頼を回復するために、お互いを信頼し仕事することが大切」であることや、「皆さんの新しい目で発電所の改革を共に進めていきましょう」といったことを伝えました。



新入社員からの声

福島県出身 木村 隼

福島のいち早い復興と、日本のエネルギー問題の解決に貢献したいと考え、入社を決めました。地域の皆さまとのつながりを大切にするとともに、学生時代の知識を活かし、発電所の更なる安全性向上につながる仕事をしたいと思っています。また、柏崎刈羽の地元食材を使った美味しいごはんを食べることを楽しみにしています！



柏崎市出身 原 峻平

幼いころからサービスホールに行き、発電所の存在を身近に感じていました。発電所所員として、地域の皆さまに安心をお届けできるよう、これから学ぶことをしっかりと業務に活かしていきたいです。また、初心を忘れることなく、目標を常に明確にして業務に取り組んでいきます。



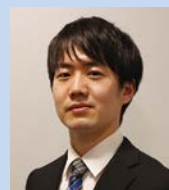
上越市出身 小出 南

故郷の新潟県で、エネルギー事業の安全確保に携わる技術者になりたいと考えています。地元出身者として、地域の皆さまの声に耳を傾け、常に努力する姿勢と謙虚な心を大切に業務に取り組みます。また、音楽を奏でること、歌うこと、踊ることが大好きなので、音楽を通じて地域の皆さまと親睦を深められたら嬉しいです！



富山県出身 藤井 亮太

大学時代から親しんだ新潟の地で働くことを嬉しく思います。発電所では安全第一が求められるので、「報告・連絡・相談」を徹底して丁寧な仕事ができる社会人になりたいです。学生時代は塾の講師として子どもたちに勉強を教えていましたが、これからは地域のイベントに積極的に参加し、子どもたちや地域の皆さまと交流できたらと思っています。



刈羽村出身 町田 航輝

私は地元出身ということもあり、発電所関係の会社に勤めている親戚から話を聞き、発電所でしか経験できないような仕事がしてみたいと考え入社を決めました。周りの人に信頼される社会人を目指し、一社員として安心安全な街と発電所を作ってまいります。



経営層と所員の対話会について

一連の不適切事案の改善措置活動の一環として、経営層と所員の対話会を昨年から継続して実施しています。4月には社長の小早川が、現在の発電所の雰囲気や仕事の悩みについて所員と対話を実施しました。



対話会の様子

参加した所員

これまでの社内の取り組みが実を結んできたことで、以前と比べコミュニケーションが取りやすくなったと感じます。

私自身も、新しい業務を始める際は、協力企業さんや他グループの立場になって考え、伝え方を工夫するようになりました。

小早川

コミュニケーションを取るときは、一方的に伝えるだけでなく、相手に正しく伝わったか確認をすることがとても大切なので、今後も続けていってほしい。



対話会には編集担当の西田も参加しました。広報誌の取材を通して感じた所員の雰囲気の変化や、発電所での出来事を地域の皆さまへ分かりやすくお伝えすることの大切さを参加者と共有しました。



社長と対話する編集担当西田

皆さまの声から改善しました

発電所では、地域の皆さまから頂いた声を受けて、より良い発電所の運営を行うための改善活動を行っています。その一例をご紹介します。

(2021年11月に発生した)竜巻警報による発電所の入口封鎖に伴う渋滞が、周辺道路まで影響が出ていた。発電所の安全を確保するためとは分かっているが、改善はできないか。

背景

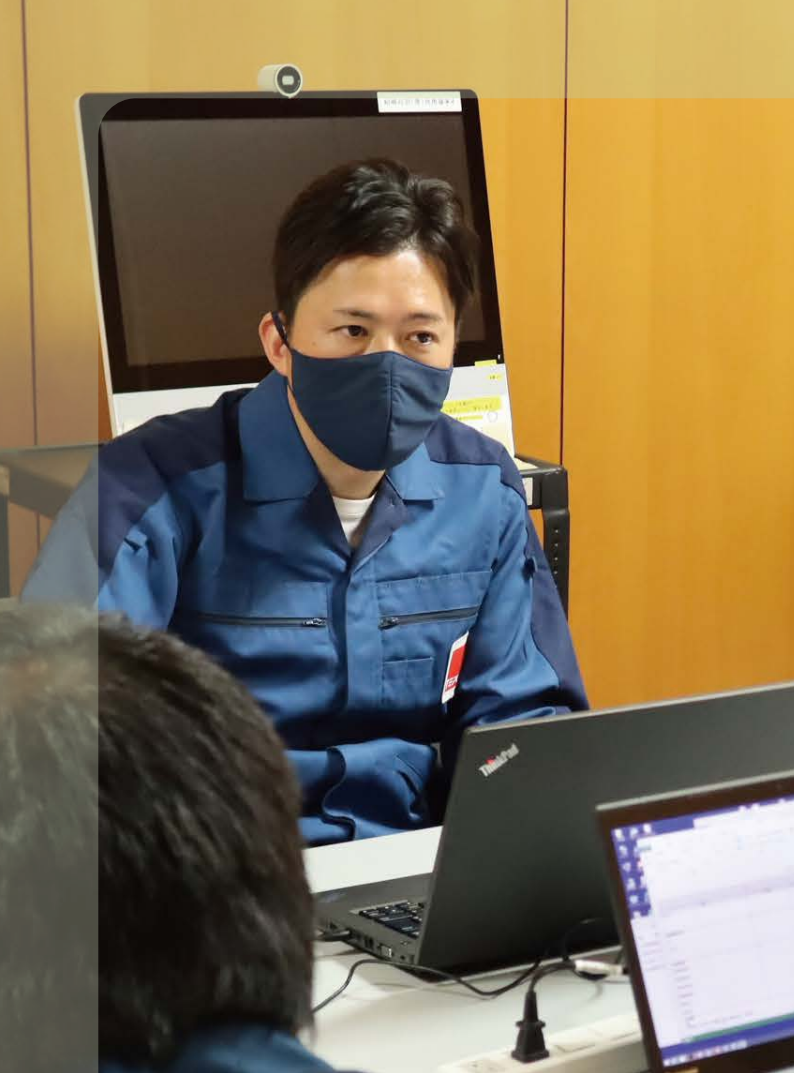
竜巻発生のおそれがある際には、発電所の重要な施設や設備に飛来物が衝突することを防ぐため、発電所構内への車両の入構を制限(発電所の正門を封鎖)する必要があります。

改善

竜巻が発生する予兆を確認した時点で、正門を封鎖する準備として警備員によるサービスホール駐車場等への誘導を開始することで、正門から周辺道路にかけて渋滞を発生させないように運用を見直しました。



今後も皆さまからのご意見を発電所運営に活かしてまいります。



原子力改革を推進するために。

発電所では、現場から原子力改革を推進することを目的に所長の稲垣が原子力改革担当役員を兼任しています。

今回は、原子力改革をサポートする改革チームの二人に話を聞きました。

(2022年4月取材)

※撮影のためマスクをはずしています。

Profile

吉田 伸也

福島県出身。柏崎市在住。1997年入社。柏崎刈羽原子力発電所に配属。発電所の運転や設備の保全業務に携わる。2016年から本社原子力部門の予算総括、工事計画認可申請業務に携わり、2021年11月より現職に至る。

「地元のバスケットボールクラブチームに所属しています。その他はゴルフや犬の散歩などをして休日を過ごしていますが、コロナが落ち着いたら、またアメリカにNBA観戦に行くことを楽しみにしています。」



柏崎刈羽原子力発電所 所長付
兼 原子力設備管理部設備計画G許認可計画TL
兼 原子力設備管理部設備技術G

よしだ しんや
吉田 伸也

柏崎刈羽原子力発電所 所長付
兼 原子力安全・統括部 品質・安全評価G

ほそかわ りょうすけ
細川 亮介

細川 亮介

神奈川県出身。柏崎市在住。2010年入社。福島第二原子力発電所に配属。保安規定管理業務(福島第二における事故対応含む)や安全文化醸成の事務局業務に携わり、2021年11月より現職に至る。

「初めての新潟勤務なので、趣味の自転車で地域を探検し、テイクアウトなどで美味しい食事を楽しんでいます。単身赴任で普段会えない妻と娘と共に、柏崎の花火を見ることを楽しみにしています。」

— 改革チームでは、どのような仕事をされていますか。

吉田 信頼される発電所に生まれ変わるため、原子力部門は今、様々な改革に取り組んでいます。私たち事務局スタッフ5名は、改革に取り組む所員のサポートや、改革の取り組み状況・進捗を社内外へ発信するための取りまとめ業務を行っています。

細川 発電所で働く人が無理なく仕事ができるようになるため、所員の声を生で聞き、実際の現場の状況を踏まえて改革を進めています。例えば、対話活動で得られた所員の改善提案を実現するため、提案者本人と直接話をしたり、実際に現場へ足を運びながら検討を行っています。こうした改革を進めると共に、より一層地域の皆さまからの声を意識した業務運営を行うことで、信頼される発電所を目指しています。

— 活動する中で、大切にしていることはなんですか。

吉田 原子力改革は多種多様な部門同士の連携が不可欠となります。今までは業務で直接関わることがなかった発電所や本社の仲間たちと原子力改革の完遂に向け、同じ方向を見て一緒に仕事することにとってもやりがいを感じています。

細川 改革は、それぞれが計画通りにやり遂げるだけでなく、相乗効果を生み出す潤滑油のような存在も必要だと考えています。具体的な活動内容を一緒に考え、各部門における活動計画の橋渡し役となり、組織全体が最適な状態になるように心がけています。

— 事務局として活動をする中で、感じていることを教えてください。

吉田 今まで設備に関わる仕事が多くサポートされる側でしたが、改革チームとして業務をする中でサポートすることの大変さや大切さを身に染みて感じています。

細川 対話などを通じて、所員それぞれが真摯に仕事をしている一方で、仕事の方向性が少しずつずれてしまい、努力が十分に報われていないことが残念だと感じました。その状況を変えていくためにも、3月の記者会見にてご紹介した「発電所の志」について、発電所で働くすべての人々が

共感し、体現できるよう、サポートを続けていきます。〔3月の会見資料はこちら〕➡



— 柏崎刈羽原子力発電所で働く一員として、地域の皆さまへメッセージをお願いします。

吉田 私は福島県出身ですが、柏崎市に住んで20年以上になり人生の半分以上を柏崎で過ごしています。柏崎刈羽原子力発電所で働く一員としてだけでなく、柏崎市民の一人として、信頼される地域に根付いた発電所になれるように業務に取り組んでいきたいと思っています。

細川 発電所を温かく迎えてくださった地域の皆さまの期待や、カーボンニュートラルや国際情勢を踏まえた社会の期待に応えることができる発電所にしていきたいと思っています。

二人と共に改革に挑む上司から話を聞きました。



こうご ひろし
向後 浩 原子力・立地本部
(柏崎刈羽原子力発電所駐在)

何事にも真摯に向き合い誠実に行うこと、毎日を明るく元気で前向きに進めること、二人から感じる日々のそうした姿勢や態度が、原子力改革を進めていく上で重要なことの一つに違いないと感じています。この二人と一緒にこれからも改革を盛り上げていきたいと思っています。



いとう えいいちろう
伊藤 英一郎 副所長

二人に共通することは、感性が鋭く、仕事をどんどん先取りして進めてくれる頼もしいところです。そして、ご家族をととても大事にしている様子も、雑談などを通して感じ取れます。そんな二人に、業務では私から色々厳しい要求をするわけですが、その業務を通して、逆に私自身が気づかされることもあります。これから先、困難や悩ましいことも多々あると思いますが、一緒に乗り越えていきたいと思う仲間です。

地域の皆さまと共に～所員による地域共生活動～

2021年度は、『コミュニティセンターさま主催の除草・清掃活動』『観光協会さま主催のイベント』『海岸清掃』など、56イベントに延べ642名の発電所所員が参加しました。

【参加した所員の声】



地域の皆さまとの交流を通じて、当社のあり方や普段の振る舞いについて、再認識することができました。



これからもボランティア活動に参加して、もっと地域の皆さまとコミュニケーションを取ってみたいです。

イベントで、気さくに声をかけていただき嬉しかったです。地域の皆さまと触れ合うことの大切さを感じました。



自分が発電所所員であると同時に地域住民の一人であると再確認することができました。



●1月～4月に行った共生活動の様子



【1・2月】柏崎市社会福祉協議会さまが主催の、柏崎市内の高齢者世帯の方々の住居を中心とした除雪ボランティアに参加しました

【3月】柏崎夢の森公園にて、春に向けた公園内整備のお手伝いとして、雪囲い取り外し作業を行いました



【4月】荒浜町内会さまが主催した海岸道路の除砂活動へは、所長の稲垣も所員と共に参加し、砂上げ作業やごみ拾いを行いました



今年度も引き続き、1人でも多くの所員が地域共生活動に参加し、地域の皆さまとの触れ合いを通じて、地域のお役に立てるよう努めてまいります。また、その様子はニュースアトムなどでお伝えいたします。

サービスホール5月の催し

参加無料

工作教室

土・日開催 開館時間:9時~16時30分
※12時~13時を除く

毎月違った3種類の工作をご用意♪
難易度に合わせて、小さなお子様でも
楽しくチャレンジできます。

難易度★



なかよしニャンコ

難易度★★



おまつりきんぎょ

難易度★★★



おまつりごはん



お問い合わせ / 柏崎刈羽原子力発電所サービスホール TEL.0120-344-053 (9時~17時)

料金受取人払郵便

郵便はがき

945-8790

柏崎局
承認

56

柏崎市青山町16番地46

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部 行

差出有効期間
2022年12月31日
まで
(切手不要)



きりとり線
✂

ふりがな _____ 年齢 _____ 歳

お名前 _____ 男・女・回答しない

〒 _____

ご住所 _____

電話番号 _____

ご記入いただきました内容については、商品の発送、紙面づくり等に利用いたします。また、個人情報については適切に管理いたします。(2022年5月号)

ニュースアトムは、発電所広報施設(サービスホール、エネルギーホール、カムフィ、き・な・せ)に設置しております。ご自由にお持ちください。また、発電所ホームページなどWebでもご覧いただけます。

へんしゅう後記

今月号で紹介した新入社員の記事を作るにあたっての取材では、彼らの緊張が強く伝わってくるのを感じました。研修会場の空気もピリッとしていて、懐かしいなと思うとともに、私が昨年入社してからもう1年が経ったのかと時間の経過をひしひしと感じています。(楓)

新社員特集ということで、我が家の末っ子猫ちゃんの仔猫時代の写真をご紹介します。たった3年でこんなに大きくなってしまったのかと驚きますが、本人はまだまだ仔猫気分です。(西)



今月号の表紙 / 「米山福浦八景 牛ヶ首」

撮影場所: 柏崎市笠島
撮影時期: 2019年5月



2022年5月8日発行

●編集発行責任者
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部
企画広報グループマネージャー
〒945-8601
柏崎市青山町16番地46
☎0120-120-448
(平日9時~17時)

《検索》

柏崎刈羽原子力発電所 🔍